

# JIS

## 建築構造用ステンレス鋼材

JIS G 4321 : 2022

(JSSC/JSA)

令和 4 年 3 月 22 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

## 日本産業標準調査会標準第一部会 金属・無機材料技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	木村 一 弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
(委員)	上田 英 明	一般社団法人日本建設業連合会（青木あすなろ建設株式会社）
	天谷 義 則	一般社団法人日本アルミニウム協会
	飯塚 隆	公益社団法人自動車技術会（株式会社 SUBARU）
	儀 敦 夫	一般社団法人日本電機工業会
	井上 謙	一般社団法人日本産業機械工業会
	岩崎 央	ステンレス協会（日鉄ステンレス株式会社）
	河村 能 人	一般社団法人日本マグネシウム協会（国立大学法人熊本大学）
	種物谷 宣 高	高圧ガス保安協会
	須山 章 子	一般社団法人日本ファインセラミックス協会（東芝エネルギーシステムズ株式会社）
	寺澤 富 雄	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	廣本 祥 子	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	水沼 涉	一般社団法人日本溶接協会
	山口 富 子	国立大学法人九州工業大学
	吉田 仁 美	一般財団法人建材試験センター

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 12.6.20 改正：令和 4.3.22

官 報 掲 載 日：令和 4.3.22

原 案 作 成 者：一般社団法人日本鋼構造協会

（〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-15-8 アミノ酸会館ビル TEL 03-3516-2151）

一般財団法人日本規格協会

（〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 050-1742-6017）

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会（部会長 酒井 信介）

審議専門委員会：金属・無機材料技術専門委員会（委員長 木村 一弘）

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課（〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1）にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 種類の記号	2
5 製造方法	2
6 化学成分	2
6.1 溶鋼分析値	2
6.2 製品分析値	3
7 機械的性質	3
7.1 0.1 %耐力, 引張強さ, 降伏比及び伸び	3
7.2 へん平性	3
8 耐食性	4
9 表面仕上げ	4
10 形状及び寸法並びにそれらの許容差	4
10.1 断面形状	4
10.2 標準長さ	4
10.3 標準寸法	4
10.4 寸法, 形状及び長さの許容差	5
11 外観	8
12 質量	8
13 試験	9
13.1 分析試験	9
13.2 機械試験	10
13.3 腐食試験	10
14 検査	11
15 表示	11
16 報告	11
附属書 A (参考) 鋼材の断面形状, 寸法, 単位質量及び断面特性	12
解 説	24

## まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本鋼構造協会（JSSC）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS G 4321:2000** は改正され、この規格に置き換えられた。

なお、令和 5 年 3 月 21 日までの間は、産業標準化法第 30 条第 1 項等の関係条項の規定に基づく JIS マーク表示認証において、**JIS G 4321:2000** を適用してもよい。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

# 建築構造用ステンレス鋼材

## Stainless steel for building structure

### 1 適用範囲

この規格は、建築構造物に用いる次のステンレス鋼材（以下、鋼材という。）について規定する。

- a) 熱間成形 H 形鋼
- b) 熱間成形等辺山形鋼
- c) 熱間成形溝形鋼
- d) 冷間成形等辺山形鋼
- e) 熱間鋼棒及び冷間仕上鋼棒（丸鋼，角鋼，六角鋼及び平鋼）
- f) 円形鋼管及び遠心力鋳鋼管
- g) 角形鋼管
- h) 熱間圧延鋼板及び鋼帯
- i) 冷間圧延鋼板及び鋼帯

### 2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

- JIS G 0201 鉄鋼用語（熱処理）
- JIS G 0202 鉄鋼用語（試験）
- JIS G 0203 鉄鋼用語（製品及び品質）
- JIS G 0320 鋼材の溶鋼分析方法
- JIS G 0321 鋼材の製品分析方法及びその許容変動値
- JIS G 0404 鋼材の一般受渡し条件
- JIS G 0415 鋼及び鋼製品－検査文書
- JIS G 0571 ステンレス鋼のしゅう酸エッチング試験方法
- JIS G 0572 ステンレス鋼の硫酸・硫酸第二鉄腐食試験方法
- JIS G 0573 ステンレス鋼の 65%硝酸腐食試験方法
- JIS G 0575 ステンレス鋼の硫酸・硫酸銅腐食試験方法
- JIS G 3446 機械構造用ステンレス鋼鋼管
- JIS G 3466 一般構造用角形鋼管